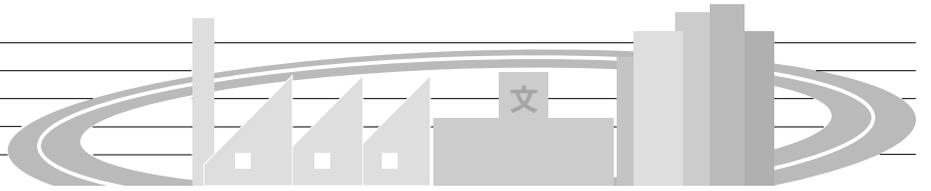


厳選される建設事業



事業費の推移

今回は市の歳出(支出)のうち、道路改良工事や学校の建設など、多額の費用を要する「建設事業費」について、その概要をお知らせします。

小樽市の全会計の建設事業費は、国の景気対策に伴う公共事業などにより、かつては増え続けていました。

しかし、平成7年度以降は、左のグラフ1のとおりに減少傾向にあります。特に12年度以降は、厳しい財政状況を考慮し、事業を厳選したため大きく減少しており、16年度当初予算と7年度を比較すると、

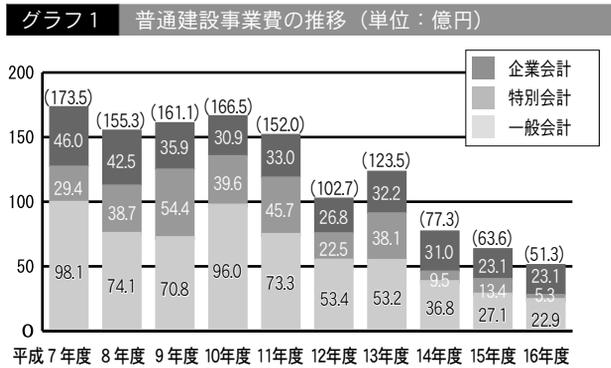
全会計合わせた額で約70%も減っています。

最近の建設事業

7年度以降に実施した主な建設事業は右下の表1のとおりです。また、道路新設改良工事など、毎年継続して実施している主な建設事業(7年度~15年度)の事業費は右下の表2のとおりです。

財源の内訳

建設事業費の財源の内訳を、12年度から15年度の期間に実施した『菁園中学校校舎等増改築事業』(下の表)を例に見てみます。



この事業では、4力年では17億8千万円もの費用を要しましたが、市債(借入金)の導入によ

菁園中学校校舎等増改築事業財源内訳	市の負担	
	市債(借入金)	一般財源(市税など)
設計費	-	1500万円
校舎増改築費	5億5000万円	7億5900万円
屋内運動場建設費	1億3400万円	2億5200万円
計	6億3900万円	10億1100万円

借入額と元金償還額
下のグラフ2は、建設事業の主な財源である市債の借入額(13年度以降の臨時財政対策債を除く)と元金償還額(返済金)の推移です。増加した元金償還額は、依然、市の財政を圧迫しています。12年度以降は、建設事業費の削減により、借入額が大きく減少し、

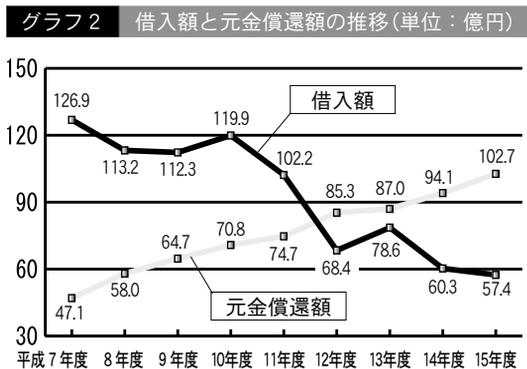


表1 主な建設事業(7年度以降完了のもの)

ジャンプ台(望洋ジャンツェ)建設事業	13億9300万円(6~10年度)
中央通地区土地区画整理事業	94億3800万円(7~15年度)
築港駅周辺地区土地区画整理事業	65億600万円(7~13年度)
廃棄物処理施設(桃内埋立処分場)建設事業	66億1400万円(8~11年度)
いなきたコミュニティセンター施設取得事業	7億3900万円(11年度)
赤岩保育所建設事業	3億4600万円(12~13年度)
菁園中学校校舎等増改築事業	17億8000万円(12~15年度)
サッカー・ラクビー場整備事業	9億8400万円(13~16年度、うち15年度まで)

表2 継続実施の主な建設事業(7~15年度)

道路新設改良工事等	213億2500万円
港湾施設改修工事等	147億8400万円
市営住宅建設工事等	71億8400万円
水道施設改良工事等	87億9200万円
下水道施設建設改良工事等	192億8200万円

元金償還額を下回っています。しかし、元金償還額が減少に転じるには、もう少し時間がかかる予想されます。
◆小樽市の財政についてのお問い合わせは、財政課 ☎ 4111 内線 231~234 へどうぞ。